指定管理者制度導入施設の運営状況（令和７年度）

１．施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地 電話番号 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	〒870-0161　大分市明野東３丁目４番１号 097-552-6888 http://www.okk.or.jp

２．指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名　称 所在地 指定期間	社会福祉法人大分県社会福祉協議会 大分市大津町2丁目1番4号 令和8年4月1日～令和13年3月31日	県の所管部課（局・室）	福祉保健部 高齢者福祉課 TEL：097-506-2688

３．施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	①社会福祉事業従事者を対象とする研修 ②介護に関する研修 ③高齢者及び介護者の総合相談 ④福祉人材に係る無料職業紹介 ⑤福祉機器等の展示及び情報提供 ⑥①～⑤のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール［２００人室］、小ホール［１００人室］、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ベット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	［該当なし］
閉館日	①月曜日、②国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日にあたるときを除く。） ③１２月２９日から翌年の１月３日までの日

４．目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 評価レベル4.6以上(R3～) （5段階評価）	令和4年度	４．６	４．６６	101.3%
	令和5年度	４．６	４．６９	102.0%
	令和6年度	４．６	４．６６	101.3%
	令和7年度	４．６	４．７０	102.2%
利用者数	令和4年度	50,000	34,191	68.4%
	令和5年度	51,000	35,380	69.4%
	令和6年度	51,000	33,590	65.9%
	令和7年度	51,000	34,721	68.1%

５．施設の利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	令和4年度	1,494	2,178	3,493	2,287	2,660	3,432	
	令和5年度	1,287	1,985	2,312	3,263	2,171	5,212	
	令和6年度	997	2,256	2,339	2,687	2,147	3,843	
	令和7年度	1,264	2,609	3,199	3,306	2,967	4,133	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和4年度	5,300	4,308	1,730	3,462	2,422	1,425	34,191
	令和5年度	6,525	4,436	2,081	2,528	2,631	949	35,380
	令和6年度	5,548	4,380	2,641	2,709	2,563	1,480	33,590
	令和7年度	3,396	5,205	2,045	2,719	2,683	1,195	34,721

６．利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	①全研修会の受講者、②福祉人材センターの来館者、③福祉用具展示場・高齢者総合相談の来館者にアンケートを実施 アンケート内容：内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入 ①対象研修数：53　対象者数：15，129名　回答者数：13，816名　回収率：91．3% ②対象者数：517名　回答者数：8名　回収率：1．5% ③対象者数：1，051名　回答者数：217名　回収率：20．6%
	実施結果	①研修会のアンケートの評価レベルは、4．70と目標数値を上回った。 ・最高：5．00　最低：4．06　平均4．66 ・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果テーマ設定、講師選定ともに受講者の評価は高く、平均値は高水準で推移している。 ・意見についても、研修内容、講師選定、施設の整備・維持、職員の対応等に対し良好な評価を得ている。 ②福祉人材センター　最高：4．00　最低：3．50　平均3．63 ③福祉用具展示場・高齢者総合相談　最高：5．00　最低：4．16　平均4．90 ＊②、③は月ごとの評価数値（月平均）の中で最高、最低を記載している。

利用者等からの主な意見・要望・苦情	左の対応状況
研修参加のための移動時間や交通費が負担になるので、集合形式とあわせてWebでも研修を開催してほしい。	研修内容によってはどうしても集合形式のみの開催の場合もあるが、なるべくハイブリットによる研修実施を進めているところ。今後も受講される方の負担軽減を図るなど研修の効率的を図っていく。
大ホール前方の壁に設置している時計の時刻が見にくい。	経年劣化により数字が確認 しずらくなってていたため、デジタル時計を会場前方に新たに設置し利便性向上を図った。

７．サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	① リハビリ専門職（PT等）を複数配置し、専門的な知識技術の普及啓発体制を強化している。特に高齢者総合相談業務については、障がいに応じた福祉用具等の相談や試用の増加、土日の専門職員による相談対応を行っている。また、介護教室でも新規に福祉用具教室を開催し、県民の在宅生活・介護の支援を強化している。 ② 令和4年6月に設置した介護ロボット普及推進センター（令和5年4月～大分県介護DXサポートセンター）は、職員を増員し、介護ロボット・ICT機器等の相談対応、体験展示、試用貸出及び機器導入に向けた助言等きめ細かな支援を行い、職場の環境改善、業務効率等、介護現場の革新が進むよう取り組んでいる。 ③ 福祉用具展示場では、企業の協力により、最新の用具等の展示に加え介護ロボット・ICT機器等も充実し、介護現場の職員にとってICT化をイメージしやすく、知識の習得や体験ができるようにしている。またホームページ上に設けたオンライン展示場やKAIGOSWITCH（カイゴスイッチ）での情報提供により、当センターに来所しなくても介護ロボット等の利活用の方法を見ることができるよう対応している。また、隣接する住宅改造モデル展示場はWi-Fiを設置して見学者の利便性を確保するとともに、在宅生活をイメージできる機器配置やディスプレイとし在宅介護を支援していく。 ④ すべての研修の受講者、高齢者総合相談センターや福祉人材センターの来所者、またホームページ上でもアンケート調査を実施し、さらにセンター各階には「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞いている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、事案に応じ対応できるものは速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて1階階段横の掲示場所にファイルを備え付けている。
イベント等の充実	①福祉のしごと就職フェア等を対面方式で実施 ・夏フェア（R7年8月2日）・・・ ホテル日航大分オアシスタワーで実施 参加事業所：38事業所 求職者：77名（学生15名、一般62名） ・春フェア（R8年2月22日）・・・ ホテル日航大分オアシスタワーで実施 参加事業所：47事業所 求職者：49名（学生6名、一般43名） ・幼児教育・保育のしごと就職フェア（R7年6月29日）・・・ ホルトホール大分 参加施設数：35法人61施設 面談者：113名（学生74名、一般39名） ②センターまつりの開催 ・日頃の利用への感謝と福祉関係者や県民の福祉・介護に対する理解と啓発を図るために実施。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症のため中止していたが、令和5年11月にセンター開設30周年の記念事業として4年ぶりに再開し、以降毎年千名前後が来場している。

８．管理に係る収支の状況

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	**令和7年度**
収入額（A）		167,324	166,802	183,564	186,865
内訳	県からの委託料	166,652	165,843	179,705	184,346
	利用料金	0	0	0	
	事業収入	467	722	781	810
	自主事業収入	205	237	1,578	209
	その他（法人運営事業繰入金、雑収入など）	0	0	1,500	1,500
支出額（B）		167,324	166,802	183,564	186,865
内訳	人件費	98,952	99,519	111,441	115,466
	維持管理費	39,579	40,719	42,503	40,907
	事業費	26,620	24,105	24,879	26,003
	自主事業費	2,173	2,459	1,756	1,614
	その他（リース債務など）	0	0	2,985	2,875
収支差額（A－B）		0	0	0	0

９．施設使用料等の収入状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用料金（千円）	○○年度							
	○○年度							
	○○年度							
	○○年度							
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	○○年度							0
	○○年度							0
	○○年度							0
	○○年度							0

１０．指定管理者の管理体制

施設管理体制	所長 ― 副所長 ― 総務・人材部長（兼副所長） 職員１３（正規２、嘱託１１） ― 社会福祉研修部長 職員 ７（正規３、嘱託 ４） ― 介護実習・普及部長 職員 ８（正規２、嘱託 ５、業務援助１） ― 高齢者総合相談部長 職員 ４（嘱託３、派遣 １）								
	職員数（R7.4.1）	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他		合計
		9		23	1		1		34

１１．適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	・令和7年度福祉人材センター全国連絡会議（東京都） ・令和7年度九州ブロック福祉人材センター及び社会福祉研修実施機関連絡会議（福岡市） ・2025年福祉のしごと就職フェアin延岡 視察 ・社会福祉法人会計実務講座初級コース（神奈川県） ・九州介護イノベーション推進会議（鹿児島市） ・東北大学青葉山リビングラボ 視察（仙台市） ・国際福祉機器展セミナー（東京都） ・リフトリーダー養成研修会（横浜市） ・福祉人材情報システム研修会（オンライン） ・福祉人材センター業務・法令研修会（オンライン） ・職業紹介責任者講習会（オンライン）
防災に関する研修・訓練	①年度当初、「施設管理マニュアル」「事故等対応マニュアル」「ウイルス感染症マニュアル」の周知徹底を図るとともに、平常時からの危機管理意識保持に努めた。また、介護研修センターを含む県社協の所属長で構成する部所長会議で災害発生時の行動や災害ボランティアセンター設置・運営について確認を行った。 ②職員に消防計画を周知し自衛消防隊設置時の各自の任務を確認するとともに、防災訓練（年1回）を実施し、緊急時には全職員が適切に対応できる体制とした。
安全対策等	①必要に応じて部屋を施錠し事故防止を図るとともに、防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。 ②危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障箇所等について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。 ③エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。